

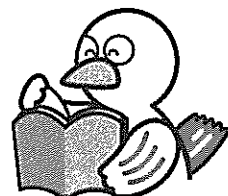


平成26年度

埼玉県推奨図書

さいたまけんすいしょうとしよ

埼玉県では、読書週間や彩の国教育週間に向けて、青少年の皆さんに読んでいただきたい本を、県民や出版社から推薦のあった本の中より選び、埼玉県青少年健全育成審議会での審議を経て、推奨いたしました。お近くの書店でお求めください。



埼玉県のマスコット コバトン

〔乳幼児向け〕

「みつけたよ さわったよ にわのむし」

熊谷市在住・5歳児母親

実際にお庭で子供と虫を見つけているように「ここにいるよ。」と指さして言いながら楽しんで読むことができる本でした。



いけのおと

あまがえるくんがすむ小さな池のおはなし。あまがえるくんは「げえこげえこ」、ウシガエルは「ぼうぼう」、イナゴは「バリ バリ」…という生き物たちのたてる音が楽しい。



松岡達英/さく
福音館書店
定価(本体800円+税)



ショベルカーがやってきた!

工事現場に、ショベルカー・ブルドーザー・ミキサー車などはたらく車と、工事の人が次々やってきた。家や道ができる様子が、紙やひもを使った立体感のあるコラージュで描かれている。



スーザン・ステゴール/作
青山 南/訳
ほるぷ出版
定価(本体1,500円+税)



バナナのはなし

「ひやしたらおいしいかな?」とバナナを冷蔵庫に置いてみたら、まっくろになった。バナナは寒いところで育つので、寒いのは苦手なのだ。バナナの成長がていねいに描かれ、バナナのすじや、黒い点の秘密もわかる。



伊沢尚子/文
及川賢治/絵
福音館書店
定価(本体900円+税)



ひとりでおとまりしたよるに

エイミーはおばあちゃんの家にひとりでおとまり。だじな宝物を3つかばんにいった。夜になり、お母さんたちに会いたくなると、宝物が意外な方法で、エイミーを家に連れて帰ってくれた…。子供の成長を感じさせる絵本。



フィリパ・ピアス/文
ヘレン・クレイグ/絵
さくまゆみこ/訳
徳間書店
定価(本体1,400円+税)



みつけたよ さわったよ にわのむし

庭で女の子とお母さんがいろいろな虫を見つけた。植木鉢の下には、さわると丸くなるダンゴムシ、丸くならないのはワラジムシ。よく見ると、ほかにもたくさん生き物がいるよ。



澤口たまみ/ぶん
田中清代/え
福音館書店
定価(本体900円+税)

埼玉県推奨図書は以下の場所で展示しております。

- 「県民の日」(11月14日)オープンデー………埼玉県庁本庁舎3階青少年課前
- 「図書館と県民のつどい」(12月14日)・桶川市さいたま文学館(入場無料)
※推奨図書『島はぼくらと』の作者辻村深月さんの講演があります。
- 県立図書館(浦和・久喜・熊谷)での巡回展示(1月から2月)
- 埼玉県庁1階・県民案内室展示(3月)



推奨図書を読み終わったらコバトンに色を塗りましょ

10月27日～11月9日 「読書週間」

11月1日～11月7日 「彩の国教育週間」

4月23日「子ども読書の日」「子どもの読書活動の推進に関する法律」より



【小学校1・2年生向け】

「もしかしてぼくは」

熊谷市立石原小2年 女子

あきらめなければだめだと思ったことでも、へびさんのがんばりを見て、できると思いました。自分もあきらめちゃだめ。がんばりたいです。



あひるの手紙

ある春の日に1年生のクラスに届いた「あひる」と書かれた手紙は、24歳のゆっくり成長をしているたなかけんいちさんから届いたものだった。その日から、1年生の子どもたちと田中さんの文通が始まる。子どもたちとたなかさんの成長がほほえましい。

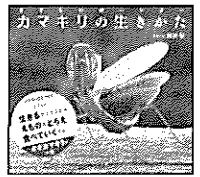


朽木 祥/作
ささめやゆき/絵
佼成出版社
定価(本体1,200円+税)



カマキリの生きかた さすらいのハンター

野原の最強のハンターとして生きるカマキリ。そのカマキリにも敵はたくさんいる。弱肉強食の野原を生き残ったカマキリは、ハンターとして腕を上げて体を成長させていく。子孫を残すという目的のために、自分の命さえ犠牲にしていく。恐ろしいハンターもけなげに見えてくる写真絵本。



筒井 学/写真と文
小学館
定価(本体1,300円+税)



きもち

きもち。がっかり、イライラ、わくわく、など説明しにくい、いろいろな感情が、絵や文字であらわされている。色彩も表現力も豊かな絵と言葉と感情とが一体となっていて、子どもたちが適切な言葉を自然に学べる。



ジャン・ケイン/さく
いしいむつみ/やく
少年写真新聞社
定価(本体1,900円+税)



あたし、うそついちゃった

小さいものが大好きなあたし。ある日校庭で、小さなカメラを見つけた。実は友達のマーティンのものだったが、自分のものだと言い張ってしまい…。嘘を親や先生に正直に話せたときの気持ち。主人公のルースの気持ちになって考えられる。



ローラ・ランキン/さく
せな あいこ/やく
評論社
定価(本体1,300円+税)



もしかしてぼくは

へびのよる。大好きな歌を歌いながら散歩をして、出会ったのは、りすやバツタやワライカワセミ。そして、ヘビクワイシにしっぽを踏まれてしまう。あきらめちゃダメとがんばった結果は…？ユーモアたっぷりのお話。



内田麟太郎/作
早川純子/絵
鈴木出版
定価(本体1,100円+税)

【小学校3・4年生向け】



もしも宇宙でくらしたら

近い未来、宇宙に行くことは特別なことではなくなるかもしれない。宇宙で暮らすって一体どんなふうになるんだろう？宇宙ステーションの一日の生活を、絵とそこに暮らす光くんの言葉で紹介している。普段子どもたちがやっている行動を宇宙でやったらどうなるか、光くんの無重力体験をいっしょに体験してみよう。



山本省三/作
村川恭介/監修
WAVE出版
定価(本体1,300円+税)



ひとりひとりのやさしさ

転校生マヤを友だちとして受け入れないクローイ。噂話、仲間はずれの日々が続くマヤが学校に来なくなった。ある日先生が洗い桶に水を入れてちいさな石を落とした。小石からさざ波が広がり、「やさしさもこれと同じ」「一人一人の小さな優しさが、さざ波のように世界に広がっていく」と言われる。その時クローイは…。



ジャクリン・ウッドソン/文
E. B. ルイス/絵
さくま ゆみこ/訳
BL出版
定価(本体1,400円+税)

「もしも宇宙でくらしたら」

深谷市立上柴東小4年 男子

もしも宇宙でくらしたら、苦手などび箱も三十段でもらくちんでいいなあと思いました。空中で服を着がえられるのは楽しそうです。ぼくも大人になったら宇宙にいききたいな。



かあちゃん取扱説明書

いつもガミガミうるさいかあちゃん。かあちゃんのあつかい方をマスターしたら。哲哉はトリセツを書くことを決めかあちゃんのことを観察し始めた。怒りながらも愛情を注ぐ親の気持ちと、それを素直に受け止めていく子どもの気持ちがユーモアたっぷりに描かれている。



いとうみく/作
佐藤真紀子/絵
童心社
定価(本体1,200円+税)



ネバーギブアップ!

泣き虫のジュンは、うで相撲が大の苦手。それなのにクラスで「うで相撲大会」が行われることになり、ためいきをついていた。そんな時、先生からうで相撲の特訓の話が…。大会の日までネバーギブアップで特訓を続けたジュンは…。諦めないことの大切さ、続けることの大切さかわかる。



くすのきしげり/作
山本 孝/絵
小学館
定価(本体1,200円+税)



絵本 いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日

食肉センターで牛の解体作業をしている坂本さん。ある日、家族のように育てた牛を生活のために売りに来た女の子とその牛との別れの様子を見てしまう。命をいただくということを考えさせられる笑話に基づいたお話。



坂本義喜/原案
内田美智子/作
魚戸さむらいがいのりかまち/絵
講談社
定価(本体1,400円+税)

【小学校5・6年生向け】

「僕は46億歳」

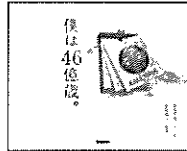
深谷市立上柴東小6年 女子

私は、この本を読んで、地球は人類が生まれるまで、ものすごくたくさんの苦難をのりこえてきたということがわかりました。私は、今生きていると言うこと、この一つの命を大切に、他の人の一つの命も大切にしたいです。



僕は46億歳。 親子で楽しむ大きな地球史カレンダー

地球が誕生して46億年を1年で現すと、たったの1日分という人類の歴史の短さにびっくりする。文明が現れてからはたったの1分！驚きとともに、地球の46億年分の歴史が理解できる。



豊田充穂／作・絵
杉田精司／監修
学研教育出版
定価(本体1,500円+税)



ストクレ!

家の都合で転校することになった主人公光希が新しい土地で成長していく物語。空手を習っている光希が、潰れそうな道場で自分の道を見失いそうになりながら努力を続けていく。その姿に家族や友達、周囲の大人たちまで心を動かされている。



小川智子／著
講談社
定価(本体1,400円+税)



「赤毛のアン」と花子 翻訳家・村岡花子の物語

モンゴメリの「赤毛のアン」を翻訳し、日本に広めた村岡花子の生涯を描いた伝記。関東大震災や戦争をくりぬけて生きてきた花子。日本の子どもたちに夢や希望を持ってほしいと生涯をかけて文学に生きた熱い思いが伝わってくる。



村岡忠理／文
布川愛子／絵
学研教育出版
定価(本体1,300円+税)



ミサゴのくる谷

スコットランドの農村にすむカラムは、保護鳥であるミサゴを守ろうと友達アイオナと観察を続ける。ミサゴを通じて様々な人と出会い成長する主人公の姿に感動する物語。自然保護についても考えさせられる。



ジル・ルイス／作
さくまゆみこ／訳
評論社
定価(本体1,600円+税)



おいでフレック、ぼくのところに

両親に理解されず孤独な生活を送るハル少年が捨て犬フレックと出会い、家を出て旅をする物語。最後までハラハラしながらもハルたちを応援したくなる。一緒に逃げる5匹の犬たちが、人間の友達のように感じられ、心が温まる。



エヴァ・イボットソン／著
三辺律子／訳
偕成社
定価(本体1,600円+税)

【中学生向け】



天狗ノオト

日本の民俗に登場する天狗伝説。亡くなった祖父の遺品から見たノオト。「天狗ニアフ」との一文が…。少年優人の天狗探しを描く雄大なファンタジー。共に奮闘する仲間との友情を信じ、果たして天狗に会えるのか。



田中彩子／作
理論社
定価(本体1,900円+税)



負けないパティシエガール

カップケーキを作ることが大好きな少女フォスター。あることがきっかけでママと街を出るが、行く先ではさまざまな壁が立ちふさがる。フォスターは自ら作るカップケーキで困難を乗り越えていくが、誰にも言えない問題を抱えていた…。



ジョン・パワー／著
灰島かり／訳
小学館
定価(本体1,500円+税)

「明日は海からやってくる」

吉川市立南中学校 2年男子
同年代の竜太が抱える進路への不安や島への想い。
そしてかけがえのない人への想い。
島で暮らしたことがない僕にとって、この本はまた一つ考え方を広げさせてくれました。



おどろきのスズメバチ

都会にも巣を作り、人間に「害虫」としてこわがられているスズメバチだが、自然の営みの中で、スズメバチだって戦っている。仲間と一体となって社会をつくるスズメバチの姿を元小学校教員である著者が明らかにしていく。



中村雅雄／著
講談社
定価(本体1,200円+税)



明日は海からやってくる

離島に暮らし漁師を志す竜太と、都会から島にやってきた灯子。島を紹介する「辰島ニュース」を編集する中で、島を愛するために、葛藤を経て、互いを理解していく物語。島の漁師トクさんの選難から導かれるものとは。



杉本りえ／作
スカイエマ／絵
ポプラ社
定価(本体1,300円+税)



わからん薬学事始 (全3巻)

木葉草多15歳。将来の夢は家業である製薬業を継いで、「気休め丸」を誰にでも効く薬にすること！小さな島からたった一人で上京し、勉強に恋に友情に頑張る男の子の薬学青春エンターテインメント。



まはら三桃／著
講談社
定価(各本体1,200円+税)

【高校・青年向け】

「島はぼくらと」

県立春日部女子高校 2年

4人の高校生の気持ちがいリアルに伝わってきた本でした。

とくに、網元の一人娘、衣花に共感しました！

高校を卒業した4人がどうなったのか、ぜひ、読みたい。



島はぼくらと

瀬戸内海の小さな島に暮らす高校生4人を軸に織りなす青春群像。様々な事情を抱えて移住してくる人々と島民、島の地域活性に奔走するコーディネーター、特産品を販売する主婦など、それぞれのドラマを通して成長していく4人の姿が清々しい。



辻村深月／著
講談社
定価(本体1,500円+税)



心

書店のサイン会で手紙を渡されたことをきっかけに、病気で親友を亡くした西山青年とメールのやり取りを始めた「わたし」。師弟のような二人の関係は東日本大震災を経てさらに展開してゆく。生と死の意味を深く考えさせられる。



姜尚中／著
集英社
定価(本体1,200円+税)



NHK「COOL JAPAN」 かっこいいニッポン再発見

外国人の視点で日本についてディスカッションするというNHKの番組を本にしたもの。伝統文化だけでなく、人気の街や学校などと話題も多角的だ。それらが外国人の目にどう映っているのかを知ることで、日本を再認識するきっかけになるに違いない。



堤和彦／著
NHK出版
定価(本体1,300円+税)



自分を愛する力

「五体不満足」でセンセーショナルな話題を呼んだ乙武氏は「息子として」「教師として」「父親として」どのように自己肯定感を培ってきたのか。「障害は人の違いに過ぎず、人は皆違うから補い合う」と語る筆者の伸びやかな姿勢に勇気が湧いてくる。



乙武洋匡／著
講談社
定価(本体760円+税)



やわらかな生命

自称「福岡ハカセ」の軽妙な語り口で、難しいはずの生命現象がまるで映像のように浮かび上がってくる。その科学マジックとも言うべき生命論は文句なく楽しめ、気がつけば元気になっている自分に気づく一冊。



福岡伸一／著
文藝春秋
定価(本体1,300円+税)

平成27年度推奨図書候補図書大募集!

埼玉県では、青少年健全育成条例に基づき、青少年の健全な育成を図るために、特に優良と認められる図書を埼玉県推奨図書として推奨しています。

県民の皆さんから推奨候補となる優良な図書を次のとおり募集します。

① 対象

乳幼児
小学校低学年(1・2年生)、中学年(3・4年生)、高学年(5・6年生)
中学生
高校生・青年の6区分
平成26年1月以降に出版された図書

② 申出方法

居住または、在学・勤務している市町村、氏名、推薦する本の題名や対象区分を明記の上、はがき、Fax又は電子メールで青少年課までお送りください。

③ 締切

④ 推奨予定時期

⑤ 送付先

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁青少年課 へて
(右記申込用紙をハガキにはり、送付してください)

FAX番号 048-830-4754 (右記申込用紙をそのままFAXしてください)

e-mail a2905-01@pref.saitama.lg.jp
(必要事項を入力の上、送信してください)

平成27年度推奨図書候補図書申込書

居住または在学・勤務している市町村

()市・町・村

氏名 ()

推奨する本の題名

出版社 ()

著者 ()

ISBNコード(本の裏表紙にあります)

()

対象区分 (○をつけてください)

【乳幼児、小学生(低・中・高)、中学生、高校生・青年】